

第2学年 国語科学習指導案

日 時：平成17年6月16日(木)

第3校時

場 所：2年3組教室

授業者：中野 綾子

1、単元名「かんさつ名人になろう」

2、指導の立場

(1) 単元について

書くということはとても幅広い活動である。様々な形態があるが、本単元では観察したことを文章に表すということを通して、必要な事柄を集めることや、文章の組み立てを学習するという単元である。必要な事柄を集めるためには、どのような見方をしていくと良いのか、文章に組み立てるにはどのようにしていくと良いのかを、身近な植物の観察をしながら、体験的に学習できる内容である。

(2) 児童の実態について

男子15名、女子16名の学級で、様々なことに真面目に取り組める児童が多い。

書くことの学習ではこれまでに、「今週のニュース」の中で、みんなに知らせたいことをカードに書くという活動を行った。ここでは、ニュースとして伝えたいこととして、自分が見聞きしたことや経験したことについて、何を伝えるのかという題材選びに取り組んだ。ニュースという観点から適切な題材を選ぶことは、多くの児童が理解し、意欲的に取り組むことができた。本単元では、そこからさらに発展させ、もっとたくさんの見方から題材を見つけさせていきたい。

また、生活科の学習でミニトマトを育てているが、その観察記録からは、題材を見つけられなかったり、たくさんの題材を深く観察しないまま羅列したりしている児童もいる。今回の学習を通して、今後の観察記録の書き方にもつながるように取り組ませていきたい。

(3) 指導について

「ミニトマトの様子をお家の人に伝えるために、かんさつ名人になろう！」を目標とし、そのためにはどんなことに気をつけて観察し、まとめていくと良いのか、実際に観察しながら学習を進めていきたい。

3、研究主題にかかわって

研究主題「ひとり歩きができる子が育つ授業の創造

～自分の考えの足場を持ち、自分の学びを深める子を願って～」

めざす子どもの姿

- ・メモを詳しくするために、意欲的に観察することができる。
- ・足りない観点到気づき、さらに詳しくメモをノートに書くことができる。
- ・自分のメモについて話型を使って発表できる。

考えの足場づくりについて

手立て

- ・観察メモについて、視点（目、耳、鼻など）をマークで表し、ノートに書き込み分類させる。
- ・ノートに観察メモを番号をつけながら書き込み、新しく付け加えるものと照らし合わせながら書き込ませる。

研究の視点

- ・観察メモの分類が適切にできているか。
- ・観察メモをさらに詳しく書くことができ、前の観察メモとの違いが分かるノートになっているか。

伝え合う場

手立て

- ・文末までしっかり話せるよう、話型の指導を行う。

研究の視点

- ・観察メモについて、付け加えたものを発表することができたか。

4、単元の目標

観察して発見したことを相手に分かりやすく書く。（書くこと ア）

知らせたいことを決め、細かく観察して、必要な事柄を集めて書く。（書くこと イ）

観察したことと、自分の考えを分けて文章を書く。

5、評価規準

関心・意欲・態度

- ・自分が育てている植物について詳しく観察し、見つけたことを文章にまとめ、友達に知らせようとしている。

書くこと

- ・伝えたい事柄について、細かく観察し、メモに表している。
- ・観察したことが伝わるように、さらに詳しい表現を使って書いている。
- ・観察したことから、自分の考えを付け加えて文章を書いている。